

ネイチャーウォッチングだより

令和8年7月 15 日(水)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎大学・短期大学

7月11日(土)、本年度Aグループの第1回ネイチャーウォッチング「めざせ 虫博士」を開催しました。天気に恵まれ、会場の岡崎市少年自然の家に29組93名の親子が集まり、昆虫について学ぶとともに、実際にトンボやバッタなどの昆虫採集を体験しました。



トンボのお話をされる鈴木先生

講師は、日本昆虫学会の鈴木栄二先生です。昆虫の特徴やトンボなどの捕まえ方を教えていただきました。「足が6本、羽が4枚だから『むし』(六四)というのです。」「大昔、メガネウラというトンボは60cm以上もありました。」「トンボは光に反応します。暗い部屋で下から光を当てると、トンボはひっくり返ります。」「トンボは目が良いので後ろから網で捕まえるといいです。」など、知らなかったことがいっぱいです。

講話の後は、野外へ出て昆虫採集を行いました。「ヘイケの沼」周辺にはたくさんのトンボが見られます。さっそく赤い色が目立つショウジョウトンボ(オス)に狙いを定める子、上空を飛んでいるウスバキトンボに向かって網を振る子など、思い思いに親子での昆虫採集が始まりました。

活動が始まってしばらくすると、赤いショウジョウトンボと青色っぽいシオカラトンボ(オス)やオオシオカラトンボ(オス)、小さくて黄色のキイトンボを捕まえて、赤、青、黄の三色すべて捕まえた子がいて驚かされました。池の周辺には、細い腹に目盛りがついたようなモノサシトンボや、トンボの幼虫であるヤゴの抜け殻も見つかりました。また、見事にウスバキトンボを捕まえると、全国調査に参加している鈴木先生にいつ誰が捕獲したかを表す記号や数字を翅につけてもらい、トンボと記念写真を撮って放すという貴重な体験をした子どもたちもいました。

参加した子どもから「家の近くの広場でトンボ調査してみたいです。」との声が聞かれました。今回の体験が身近な自然に親しむきっかけになれば幸いです。夏休みにはいろいろな昆虫を採集して「虫博士」を目指してください。

最後に、ご協力いただいたアンケートから感想の一部を紹介します。

- ・なかなか虫取りの機会がない中、家族揃って外で活動することができて貴重な体験でした。トンボも無事に捕まえることができ、子どもたちも満足の様子でした。(母)
- ・ウスバキトンボをひとりで捕まえたので、昆虫博士になります!(子)

- ・バッタとか、トンボとかのいろいろな種類が見られてうれしかった。(子)
- ・虫の足が6本、羽が4枚で「むし」ということを初めて聞いたのでなるほどと思いました。これから虫を見るたびに思い出したいと思います。(母)



うまくトンボを捕まえられるかな?



参加親子全員集合!

- ・親子で昆虫に向き合える貴重な場です。息子が昆虫大好きですので、今後も継続して開催いただけると良いと思います。今日はありがとうございました。(親)